



# さいたま市立宮原小学校 学校だより



令和7年4月30日 第2号

## 学校教育目標

・たがいに努める子(やる気)・たがいにきたえる子(元気)・たがいに手をとる子(勇氣)

## 宮原小152歳！そして153年目へ

井 上 雅 史

令和7年度が始まって三週間ほどがたち、校庭の木々の姿や肌に感じる風の中に、初夏を感じられることが多くなってきました。児童は、新しい学級・新しい友達にも慣れ、元気よく明るく過ごす姿が多く見られます。一方で、新しい環境に戸惑っている児童もいますので、一番身近にいる担任をはじめ、全教職員で児童の様子を注意深く見守り、暖かく丁寧に寄り添ってまいります。

さて、1か月後の5月30日は宮原小学校の開校記念日です。つい2年前に、宮原小学校は創立150周年を祝いました。令和4年5月24日(火)の全校朝会では、開校記念日について当時の内山校長先生からお話があり、今も校舎に掲げられている横断幕の紹介があったそうです。今の4～6年生の児童は覚えているでしょうか。そして令和4年11月22日(火)には、当時の5・6年生の児童が参加して本校体育館で創立150周年記念式典を開催しました。

式典に参加した児童は既に卒業し、教職員も半数以上入れ替わっています。また、昭和の時代には開校記念日は休業日でしたが、今では他の日と変わりません。そのため、現在では宮原小開校の歴史と150年超の伝統へ意識を向ける機会は多くありません。年に一度の開校記念日ですので、母校(地域の学校)への理解を深める機会にできたらと思います。児童へは5月27日(火)の全校朝会で開校記念日について改めて話をし、宮原小学校の伝統をつないでいきたいと思います。

学校が開校した明治6年5月30日を人の誕生日のように数えると、今年の開校記念日で宮原小は満152歳となり、153年目の年に入ります。校長室には宮原小の歴史を記した様々な資料が保存されています。特に創立100周年記念誌には創立から昭和48年までの宮原小や宮原地域の詳しい歴史が記されています。今回資料を読み込むことで、地域の皆様の熱意と努力によって宮原小の伝統が築かれ守られてきたことがひしひしと伝わってきました。その内容は膨大でここでは書ききれませんが、ご覧になりたい方は校長まで是非お声がけください。

今回は様々な資料から抜き出した宮原小のデータをご紹介します。ご覧になりながら、いつもとは違った視点から宮原小への理解を深めることに、そして児童や卒業生の皆さん、地域の皆様が母校・地域の学校に誇りを感じることができの一助となれば幸いです。

○明治 6年(1873年) 5月30日 吉祥院を校舎として開校し加茂学校と名付ける

○明治16年(1883年) 5月30日 校舎を現在地に建てて移る

○卒業生の総人数 14,615人以上(記録は明治23年から)

○教職員の総人数 約 1,100人 (途中データ欠損や重複があるため概数)

○創立時と現在の比較 ※教職員は資料から読み取れる人数で教師以外の職種も含みます

|      | 創立時 | 100年(昭和48年) | 現在(令和7年) |
|------|-----|-------------|----------|
| 児童数  | 80人 | 1,862人      | 1,049人   |
| 学級数  | ?   | 44学級        | 37学級     |
| 教職員数 | 3人  | 65人         | 72人      |

○昭和33年児童数が1,000人を超える(1,065人 22学級)

○昭和49年別所小学校分離(約490名が別所小へ。44学級→36学級)

○昭和55年泰平小学校へ一部分離(70名が泰平小へ 39学級→38学級)

○平成21年つばさ小学校へ一部分離(105名がつばさ小へ 35学級→32学級)

※井上調べ(現存の資料から読み取れる範囲のデータになります)